

養護教諭の専門力向上のための職務評価の検討

— 公立小学校・中学校に着目して —

大久保律子、鎌塚優子、吉澤勝治

(静岡県教育委員会 静東教育事務所、静岡大学)

Consideration of Job Evaluation to Improve The Professionalism of *Yogo* Teachers.

— Focusing on Public Elementary and Junior High Schools. —

Ritsuko Okubo, Yuko Kamazuka, Katsuji Yoshizawa

要旨

養護教諭が自身の専門性や資質能力について省みることができる自己評価や、学校組織の中で自分の役割について認識、自覚する他者評価を総合的に継続して行う事は、一人職である養護教諭が専門力や資質能力向上を目指し、熟達していくための重要なプロセスである。

本研究は、公立小学校・中学校の養護教諭の専門力や資質能力向上のための意識と、自己評価・他者評価の実態を明らかにし、研究結果を基盤としたキャリアステージ毎の到達目標（指標）の構想案や、自己評価できるチェックシートの構想案を提案することを目的とした。研究①では公立小学校・中学校の養護教諭の職務と評価に関するインタビュー及び先行研究から質問紙を作成し、研究②では公立小学校・中学校の養護教諭の職務評価に関する実態を把握、研究③では公立小学校・中学校の校長の視点で捉えた養護教諭に必要とされる資質能力を抽出した。その結果、養護教諭の評価に対する意識の希薄化や曖昧な評価実践等の課題が明確となり、自己評価及び他者評価の視点を取り入れた具体的達成目標ともなる指標を作成することの重要性が改めて明確となった。研究④では養護教諭職務5項目別育成指標細目（評価チェックシート）の試案を提示した。

Abstract

For *Yogo* Teachers, who are the only person in their role at schools, engaging in an ongoing and comprehensive process of self-evaluation, reflecting on their professional competence and personal qualities, and external evaluations, recognizing and becoming aware of their roles within the school organization, is a crucial process aimed at enhancing and mastering their professional competence and personal qualities.

The purpose of this study is to clarify the consciousness of professional competence and personal qualities improvement among *Yogo* Teachers in public elementary and middle schools, and to reveal the actual practices of self-assessment and evaluations by others. Furthermore, the study aims to propose, based on the research results, a structural framework for achievement goals (indicators) for each career stage, and a concept for a self-assessment check sheet. In Study 1, we created a questionnaire based on interviews and prior research related to the duties and evaluation of *Yogo* Teachers in public elementary and middle schools. In Study 2, we aimed to understand the actual practices of job evaluation for *Yogo* Teachers in these schools. Finally, in Study 3, we extracted the necessary qualities and abilities for *Yogo* Teachers from the perspective of principals in public elementary and middle schools. As a result, it became evident that there are challenges such as a lack of awareness regarding the evaluation of *Yogo* Teachers and vague evaluation practices. The importance of creating specific achievement goals and indicators that incorporate perspectives of self-assessment and external evaluation was once again highlighted. In Study 4, a draft of detailed development indicators (evaluation check sheet) for five specific aspects of *Yogo* Teacher duties was presented.

キーワード： 養護教諭、養護教諭の専門力向上、職務評価、教員育成指標、チェックシート

Keywords: *Yogo* Teachers, Improvement of *Yogo* Teachers' Professional Competence, Job Evaluation, Teacher Development Indicators, Check Sheet.

1 問題の所在と背景

保健室には多岐にわたる心身の健康課題を抱えた子どもたちが訪れる。社会の変化に伴い子どもたちの健康課題が多様化、複雑化、深刻化しており、養護教諭にはそれらに対応すべく高度な専門力や、組織で課題解決するための連携・調整力、柔軟な対応力が求められている。中央教育審議会答申（平成20年1月）では、養護教諭の職務5項目である「保健管理」、「保健教育」、「健康相談」、「保健室経営」、「保健組織活動」が明確化されると共に、養護教諭は学校保健活動の中核的な役割を担うことが示された。職務5項目の中の「保健組織活動」では、養護教諭が中心となり、その専門性を生かしつつ、全ての教職員が課題解決に向けた共通の認識を持ち、それぞれの役割を明確にしながら連携・協働して学校保健活動を推進することが求められている。このように養護教諭に高度な専門力が求められている一方で、安林(2012)は、養護教諭は一人職であり保健室の内部は可視化されず、チェック機能が働きにくく閉鎖性があると指摘しており、熟達していくための様々な障壁や評価に関する課題があることが分かっている。また、教員の資質能力の向上と学び続ける教員を育成するための教員育成指標が各自治体から策定されているが、養護教諭がそれを認識し、専門力や資質能力の向上のために活用・評価しているのか、研修計画を立てて学んでいるのか、その実態は明らかになっていない。そこで本探究テーマとして、養護教諭の専門力向上のための職務評価について検討していくこととした。

専門職の熟達化について、金井・楠見ら(2012)は、「人が熟達するためには経験を通して実践知を獲得し、初心者から熟達者になる長期的な学習課題や段階がある。実践知は個人の力だけで獲得されるものではなく、先輩・同僚など周囲の人との相互関係を築く中で獲得されるものであり、経験からの実践知獲得を支える組織体制や職場環境が重要である。」と述べている。このことから、一人職である養護教諭は、職場内にモデルとなる同職の先輩や、悩みを共有できる同職の同僚がおらず、熟達するための観察学習や他者との相互作用が困難な状況であり、実践知獲得のための障壁があると言える。また宮崎(2017)は、養護教諭の自己評価場面は、自己申告での評価で行われており、自己申告の項目の枠組みが大きいという現実において養護教諭自身の主観的な評価によることが大きい事を指摘している。更に林ら(2014)は、評価の中で意識しなければならないのは、「事実を正しく捉え、それをどう考察するか」であり、企画者・実践者の自己評価と第三者の他者評価を行う必要があると述べている。養護教諭の職務内容は明確化されても、その専門性の評価基準が曖昧であるために評価を困難にしているのではないかと推察される。養護教諭は一人職であるが故に、

主観的な自己評価をしていたり、他の教諭よりも日常的に評価してもらうことに慣れていなかったりする可能性も考えられる。つまり、養護教諭の熟達や職務評価には課題があると言える。

教諭が資質能力の向上を目指し学び続けるための政策として、「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」(平成28年11月)が公布され、各都道府県や自治体で教員育成指標が策定された。多くの自治体では、その専門性から養護教諭独自の育成指標が示された。養護教諭に求められる職務内容毎に、キャリアステージ別の具体的な到達目標が示され、段階的にどのような力を身に付けるべきかが明確となった。これは評価する際の基準と捉えることもできる。一人職である養護教諭には、このように具体的な到達目標が必要であり、評価基準があることは自らの省察・改善にもつながると推察される。

各校に養護教諭が一人配置の一人職であることは、環境や状況が養護教諭の熟達の過程を妨げている可能性がある。更に、自治体によって養護教諭に特化した教員育成指標の提示がなく、養護教諭の専門性や資質能力向上のための体制が十分に構築されているとは言い難い。キャリアステージ毎の具体的な到達目標が示されていないことは、熟達養護教諭になるための目標や見通しを立てることは困難である。また、自分自身の熟達度を省みることができず、スキルアップや熟達化へとつながらないことも課題である。これらに加え、養護教諭自身が抱える課題としては、全ての職務においての評価が自己流になりがちであり、課題の捉え方、実践の仕方、研修の意欲やモチベーション等、自らの判断に任されている。このことを確認する場や仲間同士の交流も頻繁に行うことができないため、養護教諭は自ら能動的に研鑽していかなければ、課題に気づかないまま、独りよがり、つまり自己流の保健室経営を行っていることが推察される。

そこで本研究は、テーマである「養護教諭の専門力向上のための職務評価の検討」を追求するために、研究1から研究4までの4つの研究で構成した。研究1、研究2は養護教諭の職務と評価に関する実態について、研究3は校長が養護教諭を評価するときの視点や求める姿について明らかにした。これら研究の結果と考察を基盤に、研究4で、養護教諭が専門力や資質能力を向上させるための職務評価チェックシートの構造試案を提案する。なお、本研究は研究1から研究3において、全て予備調査を実施し、検討した上で本調査を実施した。

2-1 研究1 養護教諭の職務と評価に関する実態調査質問紙の作成

(1) 研究1の目的

養護教諭が専門力や資質能力を高めるための意識及び自己評価、他者評価の実態をインタビューにより明

らかにし、その結果及び先行研究を参考に質問紙調査を作成する。

(2) 研究方法

- ①研究対象：A 市養護教諭 8 人（教員育成指標キャリアステージを基に、ステージ毎 2～3 人抽出）
- ②時期：2020 年 11 月～12 月
- ③データ収集方法：「基礎・向上期」の小学校養護教諭 3 人、「充実・発展期」の小学校養護教諭 1 人、中学校養護教諭 2 人、「深化・熟練期」の小学校養護教諭 1 人、中学校養護教諭 1 人の合計 8 人を抽出し、半構造化インタビュー調査（所要時間 20～30 分）を実施した。
- ④分析方法:SCAT(Steps for Coding and Theorization) 分析（大谷, 2019）

4 ステップのコーディング（第 1 段階で言語データ中の着目すべき語句を見つけ、第 2 段階で、それを言い換えるためのデータ外の語句を考え、第 3 段階で、それを説明するための語句を導き出す。最後に第 4 段階は、そこから浮き上がるテーマ・構成概念の順にコードを付していく）によって、テーマ・構成概念を抽出した。

2-2 研究 2 養護教諭の職務と評価に関する実態調査

(1) 研究 2 の目的

養護教諭の職務についての意識や自己評価、他者評価についての実態を明らかにする。

(2) 研究方法

- ①研究対象：A 県公立小中学校養護教諭 218 人
- ②時期：2021 年 3 月～8 月
- ③データ収集方法：A 県内の地区に偏りが無いよう適切な対象者をリクルートした。加えて各地区研究会等に依頼をし、Google フォームを使用した質問紙調査（所要時間 15 分程度）を任意で実施した。
- ④調査項目：研究 1 で作成した質問項目について、主に 5 件法で回答を求めた。また質問項目によっては、回答の幅を広げるために「その他」を設け、自由記述を求めた。
- ⑤分析方法：IBM SPSS Statistics Version23

養護教諭が資質能力を高めるために実践している内容や力の入れ方の傾向、学校種別の関係の有無、養護教諭自身の資質能力が高まったと実感する場面についての内容や感じ方の傾向、学校種別の関係について統計ソフト SPSS を使用し、相関分析を行った。自己評価方法、他者評価方法、他者評価者、評価の必要性については、それぞれ経験年数と学校種のクロス集計、カイ 2 乗検定を行った。また教員育成指標に関する各関係項目についても経験年数とのクロス集計を行った。養護教諭の職務 5 項目に関する質問については、経験年数、学校種でクロス集計、カイ 2 乗検定を行ない、更に、残差分析により偏りがどこにあるのかを把握し

た。
2-3 研究 3 校長が養護教諭を評価するときの視点や求める姿

(1) 研究 3 の目的

校長が養護教諭に求める姿や評価するときの視点を明らかにする。

(2) 研究方法

- ①研究対象:A 県内 学校長 8 人（校種に配慮し抽出）
- ②時期：2021 年 2～6 月
- ③データ収集方法：半構造化インタビュー調査（所要時間 20～30 分）
- ④分析方法:SCAT(Steps for Coding and Theorization) 分析（大谷, 2019）

2-4 研究 4 養護教諭が専門力や資質能力を向上させるための職務評価チェックシートの構造試案

(1) 研究 4 の目的

養護教諭が専門力や資質能力を向上させるための職務評価チェックシートを作成・提案する。

(2) 研究方法

- ①時期：2022 年 2～3 月
- ②作成方法：研究 1 から研究 3 の結果・考察及び、山形県教員指標養護教諭用等の各都道府県育成指標、スキルアップ養護教諭の実践力（林ら, 2014）を参考にオリジナルのチェックシート作成

3 結果と考察

3-1 研究 1 の結果と考察

分析の結果から、79 のテーマ・構成概念が生成された。それらの類似、関連するものを集約し質問内容別にカテゴリー化した。質問内容別に生成されたカテゴリーを表 1 に示す。①～④の質問内容において、それぞれ 5 カテゴリーが生成された。⑤、⑥は、4 ステップコーディングの経過で生成された語句も含めカテゴリー化した。これらに付け加え、先行研究や法令を参考にしながら 8 つの質問内容と回答項目を作成した。

表 1 質問内容別・生成されたカテゴリー

番号	質問内容	抽出されたテーマ・構成概念及びコーディング経過で抽出された語句から生成されたカテゴリー
①	養護教諭としての資質能力を高めるために実践していること	知識、技術の更新（研修会や学会への参加、専門書を読む等）
		人間関係構築（同僚、同職種、関係機関等）
		経験の蓄積と実践の省察
		職務に関連する情報の収集と活用
②	養護教諭としての資質能力が高まったと実感する場面	国からの教育施策等の理解
		適切な救急処置ができたという実感
		校内や関係機関とのスムーズな連携ができていた実感
		突発的なことへの柔軟な対応ができたという実感
③	日常の養護実践においてどのような自己評価を行っているか	専門的知識や技能を活用できたという実感
		子どもや保護者、同僚から信頼されているという実感
		保健日誌等を活用した自己の振り返り
		保健室経営計画に基づく自己評価
④	日常の養護実践においてどのような他者評価を行っているか	行事終了後、反省点等の自己記録
		人事評価シート作成時の自己の振り返り
		自己評価に対する意識の低下
		職員室等での会話から得る反省や感想
⑤	自己評価していない理由について	保健室経営計画に基づいた他者評価
		行事終了後、アンケート等から得る他者の意見や感想
		学校評価や管理職面談で得る他者評価
		他者評価に対する意識の低下
⑥	他者評価していない理由について	提出義務がないことへの甘え
		多忙感
		自己評価方法の理解不足
		提出義務がないことへの甘え

養護教諭の職務に関する質問内容は、養護教諭の職務5項目である「保健管理」、「保健教育」、「健康相談」、「保健室経営」、「保健組織活動」についての項目を設け、身につけている項目をチェックする形式とした。養護教諭に特化した教員育成指標を提示している静岡市教員育成指標（養護教諭）のキャリアステージ毎の到達目標を参考に作成した。以上、インタビュー調査の分析から生成された構成概念と先行研究等から、基礎調査6問、養護教諭の評価に関する質問15問、養護教諭の職務に関する質問5問の全26問で構成されたオリジナルの質問紙を作成し、研究2へとつなげた。

研究1で生成された回答項目である「知見、技術の更新（学会への参加、専門書を読む等）」、「人間関係構築（同僚、同職種、関係機関等）」、「経験の蓄積と実践の省察」、「職務に関連する情報の収集と活用」、「国からの教育施策等の理解」の5カテゴリーについて、養護教諭は資質能力の向上につながると認識し実践していることが明らかとなった。自己評価、他者評価においては、様々な方法で評価を行おうとする姿勢が概念より浮かび上がったが、一方で個人差等による評価に対する課題も明らかとなった。ここでは表1のみを示したが、インタビューによって、個々の捉え方やキャリアステージの違いが見られた。

3-2 研究2の結果と考察

研究1で作成した質問紙調査を実施したところ、A県公立小学校・中学校の養護教諭218人から回答を得ることができた。対象者の属性は表2に示した通りである。自己評価方法は表3、他者評価方法は表4、育成指標関係は表5に提示した。養護教諭が自分自身の専門力・資質能力の向上のために実践していることについて研究1の結果より、更に具体的な内容が明らかとなった。

表2 回答者の属性 (N=218)

項目	n	(%)	項目	n	(%)
学校種			経験したことのある職種		
小学校	145	(66.5)	保育園・幼稚園	5	(2.3)
中学校	73	(33.5)	小学校	213	(97.7)
児童生徒数			中学校	146	(67.0)
100人以下	28	(12.8)	高校	16	(7.3)
101~400人	88	(40.4)	特別支援学校	12	(5.5)
401~700人	70	(32.1)	その他	4	(7.3)
701~1000人	26	(11.9)	養護教諭以外の保有資格		
1000人以上	6	(2.8)	なし	75	(34.4)
年齢			保育士	2	(0.9)
27歳以下	43	(19.7)	幼稚園教諭	1	(0.5)
28~35歳	41	(18.8)	看護師	29	(13.3)
36~45歳	43	(19.7)	保健師	13	(6.0)
46~55歳	65	(29.8)	栄養士	1	(0.5)
56歳以上	26	(11.9)	公認心理士	4	(1.8)
経験年数			教科「保健」免許	98	(45.0)
1年	12	(5.4)	その他	26	(11.9)
2~10年	68	(31.2)	(歯科衛生士)	5	(2.3)
11~20年	49	(22.5)	(看護科教諭)	3	(2.3)
21~30年	47	(21.6)	(医療事務)	3	(2.3)
31年以上	42	(19.3)	(認定心理士)等	1	(0.5)

それぞれの項目の実践内容は、養護教諭個人の捉え方や学校の実態によって異なり、養護教諭自身に委ねられている。その結果、「国からの教育施策等の理解を深める」ことに関して平均値が低く、教育の動向や

教育施策の理解に対する課題が浮かび上がったため、それを補うような工夫や研修機会が必要である。養護教諭が自分自身の専門力・資質能力を実感する場面については、表1②に示した5つの場面であることが明らかとなった。様々な困難や課題を乗り越え解決することの積み重ねが実践知となり、自信と確信へとつながり、自らの資質能力の高まりを実感していることが推察される。養護教諭の熟達には様々な経験を積み、それを生かし達成感を得ることが重要であることが明らかとなった。

保健室経営計画に基づいて自己評価を行っている養護教諭は約37%と低い値であったが、その他の方法として人事評価シート作成時の振り返りや行事後の反省、保健日誌等の活用で自己評価を行っていることが示された。「意識して自己評価をしていない」養護教諭も少数だが存在し、自己評価自体が曖昧で主観的であり、養護教諭個人に委ねられている点が改善すべき課題であることが示された(表3)。保健室経営計画を活用した他者評価を行っている養護教諭は約16%と非常に少なく、他者評価について意識していない養護教諭がいることが明らかとなった。自己評価同様に他者評価自体が曖昧であり、他者評価に対する意識の低さや個々の捉え方の違いが大きな課題である。他者評価の実施者は教職員間だけでなく、子どもや保護者、地域関係者からの評価を積極的に取り入れながら実践・改善をしていく必要がある。養護教諭は、それぞれの評価の重要性は理解し必要だと感じているのにもかかわらず、実態に反映していないという矛盾が生じていることも明らかとなっている。この矛盾の原因については、評価方法や評価視点が曖昧かつ主観的であり、一人職である養護教諭個人に各評価が委ねられている点や、評価しやすい学校体制・しくみが構築されていないことが考えられる。これらのことから、明確な評価方法や視点を提示し、評価を確実に実施できる体制づくりを行うと共に、養護教諭同士の実践・評価共有の機会や評価に関する研修の場を設け、各評価に対する意識を向上させることが必要であると言える(表4)。

養護教諭の教員育成指標に関する認知度は約26%と低いことが明らかとなった。キャリアステージについても同様に、半数以上の養護教諭が認知しておらず、その認知度は低いと言える。教員育成指標についての認識が低いため、関連付けて作成すべき研修計画についてもそれに伴って低い作成率となった。また経験年数によって学ぶ意欲に差が生じ、経験年数31年以上のベテラン層の意欲が低いことが明らかとなったことから、ベテラン層の意欲やモチベーションを上げるための目標設定、教員育成指標の到達目標の提示方法、研修計画・研修内容の工夫が必要であることが示唆された(表5)。

養護教諭の職務5項目全般に関しての質問では、経

表3 自己評価方法・経験年数・学校種クロス集計と相関

		経験年数					合計	Pearsonの カイ2乗 漸近有意確 率(両側)	学校種		Pearsonの カイ2乗 漸近有意確 率(両側)
		1年	2~10年	11~20年	21~30年	31年以上			小学校	中学校	
保健日誌等で毎日の実践を振り返る	無	6	25	31	28	18	108	0.029*	68	40	108
	有	6	43	18	19	24	110		77	33	110
保健室経営計画に基づいて自己評価する	無	8	50	34	30	15	137	0.002*	95	42	137
	有	4	18	15	17	27	81		50	31	81
行事終了後に反省等を書き出す	無	1	22	25	24	7	79	0.000*	56	23	79
	有	11	46	24	23	35	139		89	50	139
人事評価シート作成時に実践を振り返る	無	3	27	12	7	10	59	0.051	41	18	59
	有	9	41	37	40	32	159		104	55	159
意識して自己評価をしていない	無	12	66	42	43	40	203	0.125	137	66	203
	有	0	2	7	4	2	15		8	7	15

漸近有意確率(p値)は、各項目と経験年数、各項目と学校種についてχ2検定を実施した値 *p<0.05, Pearsonの相関係数

表4 他者評価方法・経験年数・学校種クロス集計と相関

		経験年数					合計	Pearsonの カイ2乗 漸近有意確 率(両側)	学校種		Pearsonの カイ2乗 漸近有意確 率(両側)
		1年	2~10年	11~20年	21~30年	31年以上			小学校	中学校	
職員会議等で感想を聞き出す	無	3	31	25	10	14	83	0.017*	52	31	83
	有	9	37	24	37	28	135		93	42	135
保健室経営計画に基づいて他者評価してもらう	無	11	59	45	40	29	184	0.035*	120	64	184
	有	1	9	4	7	13	34		25	9	34
行事終了後にアンケートを書いてもらう	無	7	32	22	16	16	93	0.459	64	29	93
	有	5	36	27	31	26	125		81	44	125
学校評価や管理職面談で評価してもらう	無	2	11	4	4	5	26	0.625	18	8	26
	有	10	57	45	43	37	192		127	65	192
意識して評価をしてもらっていない	無	11	67	46	45	41	210	0.601	142	68	210
	有	1	1	3	2	1	8		3	5	8

漸近有意確率(p値)は、各項目と経験年数、各項目と学校種についてχ2検定を実施した値 *p<0.05, Pearsonの相関係数

表5 教員育成指標関係各項目と経験年数クロス集計

		経験年数					合計	Pearsonの カイ2乗 漸近有意確 率(両側)
		1年	2~10年	11~20年	21~30年	31年以上		
「教員育成指標」について知っていますか	知っている	7	20	12	4	11	54	0.032*
	聞いたことはあるがよく知らない	2	28	16	23	16	85	
	知らない	3	20	21	20	15	79	
キャリアステージについて知っていますか	知っている	9	32	24	12	20	97	0.017*
	聞いたことはあるがよく知らない	1	29	17	25	11	83	
	知らない	2	7	8	10	11	38	
研修計画を立てていますか	研修計画を立てている	4	3	6	4	9	26	0.059
	研修計画は立てていない	5	50	35	37	27	154	
	研修計画について理解していない	3	15	8	6	5	37	
	その他	0	0	0	0	1	1	
意欲的に学び続けていますか	意欲的に学び続けている	11	41	20	17	12	101	0.001*
	意欲的ではないが学んでいる	1	27	29	30	29	116	
	学び続けようと思わない	0	0	0	0	1	1	

漸近有意確率(p値)は、各項目と経験年数についてχ2検定を実施した値 *p<0.05

験を重ねるほどチェックできる項目が増える傾向が見られたことから、養護教諭は経験を通して実践知を獲得し、初心者から熟達者になるプロセスを経て養護教諭として必要な専門力や資質能力を獲得しているといえる。しかし「着任時」に必要な基礎的な力でも、自分の身についている力としては満足しておらず、主観的に低い評価をしている養護教諭がいる可能性も考えられる。このように主観的な自己評価の差をなくすためには、具体的な資質能力を示した指標の存在が不可欠である。

3-3 研究3の結果と考察

対象者の基本情報は表6の通りである。また、ストーリー・ラインから生成されたテーマ・構成概念は、45個生成され、9つのカテゴリーに分類された(表7)。

これらから、管理職である校長は、一人職である養護教諭の専門性を認め、期待し、多方面や対象に合わせたアプローチができる養護教諭を求めていることが明らかとなった。

表6 対象者の基本情報

校長名	年代	性別	学校種	経	歴
校長A	50代	女	公立中学校	教頭1校	校長1校
校長B	60代	男	県立高等学校		校長2校 教育行政
校長C	60代	女	公立小学校	教頭1校	校長1校
校長D	60代	男	公立中学校	教頭2校	校長1校
校長E	50代	男	公立中学校	教頭2校	校長1校 教育行政
校長F	50代	男	公立小学校	教頭1校	校長1校
校長G	50代	女	公立小学校	教頭2校	校長2校 教育行政
校長H	50代	男	公立小学校	教頭2校	校長2校 外部機関

表7 校長インタビューより抽出したカテゴリーとテーマ・構成概念

カテゴリー	テーマ・構成概念
養護教諭に求める姿	唯一無二の存在であるという認識 一人職であるという責任の重さの自覚 学校保健に関する優れた専門性の発揮 多様な価値を受容する豊かな情操と人間性 鋭い気づきの感性と的確な発信 経験知を積み活かす姿勢 強い信念 FDCAによる自己評価を省察を活かす向上心
教員に必要な基本的資質能力	子ども第一主義 確かな判断力 柔軟な対応力 的確な発信力 鋭い観察力 共感力・行動力
管理職へのアプローチ	管理職が判断する際に必要な養護教諭の専門的意見 養護教諭の視点で捉えた報告・連絡・相談 保健室における養護教諭しか得られない情報の提供 信頼関係の構築
学校マネジメントへのアプローチ	チーム学校を實現した働きかけ、組織の中の役割の明確化 学校教育目標達成のための教育的視点 他機関連携の構築のための的確な助言 学校保健推進と健康増進向上のための働きかけ
担任へのアプローチ	校内での連携と協働 子どもの課題の把握と共有 迅速な情報共有 支援のための役割の明確化 日々の適度なコミュニケーション
子どもへのアプローチ	心身のケア 信頼関係の構築 子どもの命を護る 子どもの気持ちを受容 誰もが利用しやすい保健室 教育的支援を推進
保護者へのアプローチ	寄り添った保護者対応 懐疑のある判断と説明 病気を怪我に関する専門的知識と技術 迅速で柔軟な対応 保護室を学校や不登校の支援
外部へのアプローチ	信頼関係構築 他機関連携 子ども支援のための協働 チーム支援
養護教諭ネットワーク構築	機種の繋がりを強化 高めあえる仲間 迅速養護教諭の存在

校長が養護教諭を評価する視点、養護教諭に求める姿に関する分析結果から、「養護教諭に求める姿」

に「教員に必要な基本的資質能力」というカテゴリーが生成されていることから、校長は、養護教諭は教員の一人であるという認識を持っており、学校教育目標達成のために専門的視点と教育的視点を育みながら協働し、チーム学校の一人として活躍する養護教諭の姿を求め、それを評価している事が示された。つまり校長は、専門性を発揮しながら多方面や対象に合わせた柔軟な対応ができる養護教諭を求めており、工夫した様々な方法で適切かつ柔軟なアプローチができるのかを期待していることが明らかとなった。また、全ての校長が養護教諭の専門力を信頼しており、学校の中で唯一無二の存在であることや、多様な価値を受容する豊かな愛情と人間性を兼ね備えていること等が抽出された。一方で養護教諭のマイナス面として、一人職であるという責任の重さの自覚が足りない面や保健室からの発信力が弱い面、自己評価や省察を生かす向上心に課題がある面が指摘されていた。校長は、養護教諭が一人職であることを考慮しており、養護教諭同士の横の繋がり、つまり養護教諭のネットワーク構築というカテゴリーも生成され、熟達化のためには同職の先輩や仲間から刺激を受けて学んだり、モデルとなる実践を教授してもらったりしながら、専門性を磨いていくことが示された。向上心を持ち自ら積極的に学ぼうとする姿勢は、校長が養護教諭に求める姿であり評価の視点であることが明らかとなった。

4 研究4

本研究を基盤として、これまで述べてきた養護教諭に特化した指標、若しくはチェックシートの構造、研修計画について提案する。

まず、中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」（平成27年12月）においてキャリアステージを、養成段階、採用段階、1～数年目、中堅段階、ベテラン段階と示していることから、現職の養護教諭が指標を活用することを想定すると、養成段階を除く4段階が妥当と思われる。教員育成指標を提示している自治体の様子を参照にしても同様に4段階で提示されている。また教職のキャリアを考えたとき、着任時、基礎期、充実期、深化期と段階を踏んで発展していく様子が明確であるため、本研究においてもキャリアステージは4段階で提示することと提案する。

次に項目だが、中央教育審議会答申「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために～学校全体としての取組を進めるための方策について～」(平成20年1月)によって示された養護教諭の職務5項目である保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動については、養護教諭に求められる基本的な職務であることから、指標のメインとなるであろう。策定されている養護教諭に特化した教員育成指標を参照にしても同様に、職務5項目を基盤にその他ア

レンジされた指標が提示されている。そこで本研究では、校長が求める養護教諭の姿を明らかにした点から、職務5項目に他者評価の視点項目を加えたチェックシートの作成を提案する(表8)。

各自治体が策定している養護教諭に特化した育成指標は、キャリアを見通せるような大きな枠組みで提示しているものが殆どである。そのため、キャリアステージ毎に身に付けたい達成目標についても、各項目の概要を示した到達目標となっており、決して具体的とはいえない。一人職である養護教諭は、教諭とは異なり些細なことでも身近でアドバイスをしてくれる同職がいないことから、それを補うような細分化された指標やチェックシートが必要であると推察される。大きな枠組みの指標を示すと同時に、更に細分化されたチェック機能を持った指標の策定が望まれる。

本研究では、専門力や資質能力向上のための職務評価の重要性を述べてきた。評価によって自分自身の実践を省察したり、自分の力を見つめ段階の位置を確認したりすることで、更なる学びに向かう向上心を持つことができる。その時に、適切な学びや研修が受けられるしくみ・体制の構築が求められている。このことから、「自己研鑽・研修」の項目も加え、養護教諭が指標をチェックしながら、学びや研修の意識を高めることができるような指標を提案する。また、養護教諭に求められる役割や職務内容は、時代の流れや社会のニーズと共に変化している。よって指標やチェックシートは、定期的な見直しや随時更新が必要となることを記しておく。

次に研修計画の提案をする。平成9年の保健体育審議会答申を受け、教員免許法一部改正により、養護教諭養成に新たな科目「健康相談活動の理論および方法」及び「学校保健」に含まれていた「養護概説」が単独の科目として設置された。平成20年の中央教育審議会答申を受け、保健教育の充実や現代的健康課題に対応した看護学の履修内容の見直しがされている。更には、教育職員免許法及び同法施行規則改正の平成31年4月1日の施行に伴い、教職課程の見直しが図られている。つまり、現職養護教諭は養成された年代によって、履修してきた科目に差が生じていることが分かる。法改正後に伝達講習等はあるものの、それだけでは不十分であり、キャリアステージ毎の研修を計画する際には、これまでに履修をしていない科目等を補填する研修構造・計画も念頭にいれる必要がある。

また山崎(2020)は、養護教諭の力量の向上を促すためには、養護教諭同士が交流する広域の研修、高い力量を有する養護教諭から学ぶ研修、校長・教頭から役割の変化の意義を学ぶ研修、教員と役割が異なる教育行政職等から学ぶ研修を体系的に研修計画の中に組み込む重要性を指摘している。養護教諭の悉皆研修は限られた回数しか実施されないため、地区研修や市内

研修等の内容の充実を図ったり、学会参加、勉強会参加等、積極的に学ぶ機会の提示を行ったりして、研修計画を立てる際の工夫が求められる。

表8 養護教諭職務5項目別育成指標細目（評価チェックシート試案）

(2022年度版)

資質能力		項 目	チェック	採用法	基礎・向上	充実・発展	強化・発展	
養護教諭の実践力	1. 保健管理	健康診断	1 学校保健安全法や関連法規を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			2 健康診断の基礎的知識を身に付けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			3 健康診断の意義や目的、時間、会場、方法等を教職員、児童生徒、保護者に伝えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			4 健康診断の事前指導、実施、事後措置まで、速やかに行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
			5 健康診断の結果について、全国・県・市町等の平均と比較したり、自校の推移を見たりしながら、自校の健康課題の特徴を捉えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			6 健康診断の結果を個別の保健指導・健康相談・健康観察の資料として活用している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			7 健康診断によって捉えた健康課題を学校保健活動（保健管理、保健教育、組織活動）につなげている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		救急処置	8 救急処置の基礎的知識を身に付けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			9 学校における救急処置の範囲について理解し、教職員、子ども、保護者に周知している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			10 救急処置体制のマニュアルを作成し、教職員に周知している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			11 救急処置等の研修の企画・運営ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			12 児童生徒の状態に応じて、適切な対応・処置・連絡ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			13 教科・特別活動等において、児童生徒が自分でできる救急手当てについて指導している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			14 救急処置事例に応じて、組織的に再発防止のための対策を講じている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	健康観察	15 健康観察の基礎的知識を身に付けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		16 健康観察の意義や目的を理解し、それらや実施方法、役割等を教職員に伝えている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		17 健康観察で異常が見られた児童生徒に対し、個別指導や健康相談を実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		18 健康観察を通して、自己の健康状態に気づくことができる児童生徒の育成に努めている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		19 健康観察の結果を学校運営や学級経営、保健管理、保健教育に活用している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		環境衛生	20 学校環境衛生の基礎的知識を身に付けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			21 環境衛生検査結果を保健管理、保健教育に繋げている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	22 環境衛生検査の結果、事後措置を講じた項目について、日常点検の重点項目として取り上げ教職員に周知している。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	23 環境衛生検査の結果や改善点について学校保健委員会で取り上げ、学校組織の課題として教職員で協議している。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	24 感染者の早期措置を図ると共に、集団感染の防止に努めている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	25 標準予防策（スタンダード・プリコーション）を意識した措置・対応を行っている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	26 ノーニングを意識した動線の確保に留意している。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	感染症	27 感染予防のために必要な情報を周知し、保健教育を実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		28 保健調査の目的、意義、実施方法、活用について説明し、教職員の理解を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
29 保健調査の結果を整理し、健康診断に活用している。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
30 保健調査の結果を、個別の指導や配慮を必要とする児童生徒の保健管理に活用している。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
31 保健調査の結果を教職員で共通理解し、児童生徒の健康管理や生徒指導に活かしている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
32 保健調査項目や内容、方法等について評価を行い、改善内容を教職員に周知している。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
33 児童生徒の実態や健康課題を把握し、その解決のために発達段階に応じた対応をしている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
その他	34 健診結果や欠席・実害者情報等を、適切に集計・統計処理し管理している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	35 ICTを効果的に活用している。（健康観察、健康診断等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	36 校内における保健管理の指導的な役割を担っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	37 児童生徒の健康課題の解決に向け、組織的に対応している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	38 児童生徒の健康課題に適切に対応するため、保健管理に関わる校内運営に参画している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	39 保健管理に関わる専門的助言を行ない、指導的立場を果たしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	40 地域、市、県等の専門職研修・研究会等において、健康管理についての指導的な役割を担っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
2. 保健教育	集団の保健教育（教科・教科外）	41 保健管理に関して、研究的な視点を持ち、実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		42 学習指導要領・教育課程を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		43 児童生徒の実態に応じた保健教育の必要性を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		44 指導計画や指導案を作成し、関係教職員と検討することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		45 学級担任や教科担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育に参画・実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		46 児童生徒の自主的な態度を育成するために、参加型学習を取り入れる等、創意工夫をしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		47 ICTを効果的に活用し、保健教育を展開しようとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	個別の保健指導	48 学校教育活動全体を視野に入れた保健教育について、計画・実践・評価し、効果的に推進している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		49 保健教育を組織的・計画的に展開している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		50 指導を効果的に行うために、発達段階を踏まえ、創意工夫された資料等を準備している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		51 各教科や特別活動等、横断的な学びを視野に入れた保健教育を構想し実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		52 児童生徒の実態に応じた個別の保健指導を実施しようとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		53 児童生徒の実態や健康課題を把握し、その解決のために発達段階に応じた個別の保健指導を実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		54 保健室実害者に対して、意識的に保健指導を行うよう心がけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
啓発活動	55 著作権・肖像権について理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	56 保健だより作成時、文庫を使用したときには引用先を明記している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	57 保健だより発行の意義や目的を理解し、効果的に発行している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	58 保健だよりの内容は、児童生徒、保護者のニーズや実態に合わせて作成している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	59 保健だより発行の目的を明確にし、教職員の共通理解を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	60 保健だより発行に関する自己評価、他者評価を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	61 保健に関する掲示の年間計画を立てている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他	62 保健に関する掲示の意義や目的を理解し、効果的に掲示している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	63 児童生徒の興味関心を得るような創意工夫のある掲示を作成している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	64 掲示に関する自己評価、他者評価を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	65 保健教育の推進にあたり、地域や多職種、他機関と連携した取組をしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	66 保健教育の推進にあたり、専門的立場から地域や多職種、他機関へ指導・助言を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	67 地域、市、県等の専門職研修・研究会等において、健康教育についての指導的な役割を担っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	68 健康教育に関して、研究的な視点を持ち、実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		

3. 健康相談・健康相談活動	69	学校保健安全法による健康相談・教育職員免許法による健康相談活動の位置づけ及び内容を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	70	ヘルプアセスメントの基礎を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	71	養護教諭の職務の特質や、保健室の機能を生かして、児童生徒の心身の健康課題に対応しようとしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	72	健康相談に関わる記録簿を準備し、確実に記録をしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	73	記録は個人情報を守ることができる場所に保管している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	74	発達障害、慢性疾患等の配慮を必要とする子どもの実態と背景の把握をし、健康相談の計画を立てている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	75	保護者や他の教職員等と連携・協力しながら、個に応じたアセスメントや対応をしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	76	本人・保護者の思いを受け止めながら、地域・関係機関と連携し、健康相談・健康相談活動を実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	77	配慮を要する子どもの個別の指導計画等の作成に参画する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	78	健康相談・健康相談活動について計画・実践・評価し、効果的に推進している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
79	健康相談・健康相談活動を組織的に展開している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
80	健康相談・健康相談活動について、これまでの実践の蓄積を更に深化させ、より良い方法を探究している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
81	該当児童生徒に必要な知識・情報を与え、学習や社会性を養うための適切なスキルを身に付けさせる支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
82	保護者・地域・関係機関と連携し、計画的・組織的な対応を行うにあたり、コーディネーター的役割を果たしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
83	地域、市、県等の専門職研修・研究会等において、健康相談についての指導的な役割を果している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
84	健康相談に関する研究的な視点を持ち、実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
85	チーム対応で相談支援体制の構築を図り、必要に応じてケースカンファレンスを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
86	ケースカンファレンス等の開催及び運営において、リーダーシップが取れる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
87	養護教諭の役割、保健室の機能に関する基礎的知識を身につけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
88	課題解決型の保健室経営計画の必要性を理解し、作成し、校内に周知している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
89	保健室の備品や薬品、文書管理等の基礎が身についている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
90	保健日誌を毎日記録し、管理職に報告すると共に指導・助言を受けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
91	学校保健目標が学校教育目標に沿ったもので、児童生徒の健康課題の解決に向けて達成しなくてはならない目標を明確に記入している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
92	保健室経営計画を基に、保健管理、保健教育、健康相談、保健組織活動等について実践し、その過程や結果を評価し、改善している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
93	学校教育目標の表現に向けて、具体的な方策を示す等、保健室経営を工夫して実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
94	学校教育目標、学校保健目標の具現化のために保健室経営計画を立て、校内で共有し、計画的・組織的に実践をしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
95	保健室経営計画の中間評価を行ない、活動内容を柔軟に修正することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
96	校内の教職員と連携を取り、組織的に一日の養護活動を実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
97	保健室経営計画について、これまでの実践の蓄積を更に深化させ、効果的な保健室経営を推進している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
98	年度末に確かな自己評価を行い、評価結果に基づいて具体的な改善策をまとめている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
99	活用しやすい保健室にするため、児童生徒、教職員の意見を聞き取り入れている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
100	保健室経営の視点から、学校保健目標達成のために学校運営に参画し、効果的・組織的な指導・助言をしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
101	地域、市、県等の専門職研修・研究会等において、保健室経営についての指導的な役割を担っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
102	保健室経営に関して、研究的な視点を持ち、実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
103	国、都道府県、市町等の規定に基づいた公文書の管理について理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
104	公文書一覧表を作成し、的確な文書管理（廃棄、保存）を行ない、誰が見ても分かりやすく整理されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
105	児童生徒の健康診断票等、個人情報の取り扱いに留意し、鍵のかかる場所に保管している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
106	健診結果、環境衛生活動調査等の調査報告は、個人情報の取り扱いに留意し、鍵のかかる場所に保管している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
107	災害報告書、給付金支払い通知書、出席停止に関わる文書等は、年度毎に整理し保管している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
108	保健室に保管されている文書の内容、場所が全教員に共通理解されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
109	正確かつ効率的に事務処理ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
110	管理職や公の機関による公文書の定期点検を受けている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
111	保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力・連携の重要性を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
112	学校保健計画、学校安全計画の内容を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
113	学校保健委員会や児童生徒保健委員会の意義を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
114	全教職員に分掌部会の所管事項と学校保健目標、本年度の活動計画の共通理解を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
115	保健組織活動の企画・運営に積極的に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
116	保健組織活動を実践し、その過程や結果を評価し、改善している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
117	学校保健計画の策定に参画している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
118	保健活動終了後に、分掌部会内で協議し、評価・改善等の記録を残している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
119	保健組織活動が効果的に実践できるよう内容の工夫改善を図る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
120	保健組織活動について、これまでの実践の蓄積を更に深化させ、効果的な方法を推進している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
121	分掌部会で検討された内容が、学校全体の教育活動や学校運営に活かされている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
122	保健活動が児童生徒にとって有効であったかを児童生徒や教職員等から確認している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
123	地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
124	児童生徒、保護者、教職員、関係機関等から運営方法について評価・改善点をまとめ次年度の計画に活かしている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
125	地域、市、県等の専門職研修・研究会等において、保健組織活動についての指導的な役割を担っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
126	保健組織活動に関して、研究的な視点を持ち、実践している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
127	教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
128	養護教諭としての養護観を持ち、養護実践及び教育活動に関わっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
129	養護教諭として新しい知識や技術等を日々更新している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
130	児童生徒への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
131	児童生徒に対して、人権を尊重し適切な言葉遣いや態度を心がけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
132	広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
133	常に児童生徒の模範となるよう心がけている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

5 研究の限界と今後の課題

本研究1・2は、A県の公立小中学校の養護教諭のみ、任意での調査であったことから、本研究に興味を持ち賛同した養護教諭や、評価・職務に関して意識が向いている養護教諭が回答した可能性がある。悉皆調査で行うと、結果の相違が多少なりとも起こりうる可能性がある。研究3に関しても、研究に賛同したA県の校長が回答しているため、養護教諭のプラス面を主に回答している可能性も考えられる。また、本研究では対象を校長に限ってしまったが、その他管理職や担任、スクールカウンセラー等の関係者、保護者、子どもにも養護教諭に求める姿を聞くことで、更に幅広く評価の視点や他者が求めている養護教諭の専門力・資質能力を見つけることができるのではないだろうか。

A県は養護教諭に特化した教員育成指標が作成・提示されていないことから、養護教諭に特化した教員育成指標が提示・活用されている県の養護教諭と比較することで、その有効性が明らかになるだろう。しかし、本研究ではA県の養護教諭の評価や職務に関する意識の実態を把握すること、校長が養護教諭を評価する視点と養護教諭に求める姿を明らかにすることを目的としているため、これが研究の限界といえる。今後は、養護教諭に特化した育成指標及び育成指標細目（チェックシート）を作成・提示し、養護教諭がそれを活用し評価を行ない実践に生かし、専門力や資質能力向上を目指しながら学び続ける養護教諭が増えると共に、養護教諭全体のレベルアップにつながることを期待する。そのためにも、養護教諭に特化した教員育成指標及び育成指標細目（チェックシート）の完成・運用が課題である。

6 総合考察

養護教諭が専門力や資質能力を高めるためには、熟達するためのプロセスを把握した上で、自己評価、他者評価、総合的評価を随時取り入れながら、自分の実践を振り返ったり、養護教諭としての熟達段階を把握したりすることが必要である。また、熟達の段階や評価の仕方には経験を含めた個人差が生じるため、養護教諭に特化した指標を活用することで、主観的な評価ではなく適正な評価ができること期待される。更に、管理職や他者が専門職である養護教諭を評価する際には、それが客観的な指標となり正当な評価となり得る。また、一人職である養護教諭の職務や専門性に対する理解、他者の意識変革にもつながると期待できる。本研究で提案した指標兼チェックシートが作成され、養護教諭がそれを活用して各評価を行ない、自分の熟達段階を把握したとき、更なる向上のために必要となるのが研修である。指標と一体化した研修内容を位置づけ

引用文献

- 金井壽宏・楠見孝 編(2012)実践知エキスパートの知性. 有斐閣
- 静岡県教育委員会 教員育成指標、教員育成指標活用のための補助資料 hojyosiryou220401_1. pdf (2023年12月12日閲覧)
- 静岡市教育委員会 静岡市教員育成指標(養護教諭) https://www.nits.go.jp/service/shihyo/files/shihyo_cityShizuoka_20231214_001.pdf(2023年12月15日閲覧)
- 林典子・下村淳子・鎌塚優子・井澤昌子・大野志保(2014)スキルアップ養護教諭の実践力 レッツ・チェック「養護教諭の活動」. 東山書房
- 宮崎亜希絵(2019)養護教諭の資質・能力向上に関する自己評価—人材育成指標の作成を通して—. 東京学芸大学教職大学院年報 7, 105-116
- 文部科学省 中央教育審議会答申 子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について(平成20年1月17日)
- 文部科学省 中央教育審議会答申 これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～(平成27年12月21日)
- 文部科学省 教育公務員特例法等の一部を改正する法律(平成28年11月28日)
- 安林奈緒美(2012)保健と教育が交錯する場における養護教諭の役割—学校管理職へのインタビュー調査を手掛かりにして—. 保健医療社会学論集第23巻1号, 74-84
- 山形県教育委員会 山形県教員指標 養護教諭用(平成30年1月18日)

ることで個人の研修計画が立てやすくなり、専門力や資質能力向上のための効果的な学びにつながると期待される。

養護教諭の専門力や資質能力向上には、職務評価だけでなく養護教諭同士のネットワークの構築も影響を与えていることが推察される。研究3から、「養護教諭ネットワーク構築」がカテゴリーとして生成されたように、熟達養護教諭から高度な養護実践について学んだり、専門職・一人職ならではの不安や悩みを共有・相談したりと、養護教諭同士の横のつながりの強化もまたモデルから学ぶ、先輩を見習うという熟達化のプロセスであり、養護教諭の専門力・資質能力の向上に寄与していると言える。

山崎保寿・飯田寛志(2020)教員に求められる資質能力の職位による特徴に関する考察(その1)—教員育成指標との関連を視野に入れて—. 教育総合研究 4巻, 43-55

参考文献

- 荒川雅子・朝倉隆司・竹鼻ゆかり(2017) 養護教諭の専門職としての成長プロセスとその要因—認識と行動に焦点を当てて—. 学校保健研究 59, 76-88
- 石村貞夫・石村友二郎(2011)SPSS でやさしく学ぶ統計解析第4版. 東京図書
- 大野泰子(2016)養護実践の充実を導く保健室経営—実態調査と経営研修会から保健室経営を考える—. 鈴鹿大学短期大学部紀要 36巻, 37-47
- 小笠原典子・臼井永男・高崎裕治(2011)養護教諭の職務実態と自己評価—職業的自律性を求めて—. 秋田大学教育文化学部研究紀要, 教育科学部門 66, 7-17 籠谷恵・朝倉隆司・佐久間浩美(2021)養護教諭におけるプラトリー化の関連要因. 日本公衛誌第68巻第5号, 349-362
- 久米真理・池田誠喜(2017)マネジメントサイクルを利用した小学校保健室経営の改善. 鳴門教育大学学校教育研究紀要第31号, 65-74
- 埼玉県教育委員会 教員等の資質向上に関する指標【養護教諭】
- 埼玉県教育委員会(2020)養護教諭育成支援事業報告書(財)日本学校保健会 学校保健の課題とその対応—養護教諭の職務等に関する調査結果から—(平成24年3月26日)
- (財)日本学校保健会 保健室経営計画作成の手引き(平成27年3月23日)
- 利岡美音・池田誠喜(2021)課題解決型の保健室経営計

- 画に対する養護教諭の意識と課題. 鳴門教育大学学校教育研究紀要第 35 号, 141-146
- 中村富美子・荒木田美香子・内山有子・齋藤朱美・高橋佐和子・中村千景(2019)キャリアアップに活かす! 養護教諭のスキルラダー. ふくろう出版
- 長瀬仁美・土田満(2020) 養護教諭の専門職的自律性と学習機会, 職務満足感との関連について. 東海学校保健研究 44(1), 41-56
- 日本養護教諭教育学会(2012) 養護教諭の専門領域に関する用語の解説集〈第二版〉
- 文部科学省 現代的課題を抱える子どもたちへの支援～養護教諭の役割を中心として～(平成 29 年 3 月)
- 文部科学省 養護教諭の職務内容等について https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/029/shiryo/05070501/s007.htm (2021 年 10 月 15 日閲覧)
- 令和 3 年度静岡県学校基本統計速報(学校基本調査の結果速報)(2021) 静岡県公式ホームページふじのくに https://toukei.pref.shizuoka.jp/jinkoushugyouhan/data/18010/documents/03gakkoukihon_sokuhou_kekkagaiyou.pdf (2021 年 10 月 15 日閲覧)